

産学金連携による商品開発・PR 動画

新潟産業大学 経済学部 文化経済学科 4年 田邊 青海 太田 瑞希
指導教員 新潟産業大学 経済学部講師 権田 恭子

1. 活動のきっかけ

(1) ウイルス禍でこそできる地域連携活動を

文化経済学科権田ゼミナール(まちづくり・地方行政分野)では、これまで「まちかど研究室」、「たかだ竹あかり」など様々な形で地域連携に携わり、柏崎地域の活性化を目指して精力的に活動してきた。だが昨年度より、新型ウイルス感染拡大という状況下において、人々が集い、ふれあうイベントの企画・運営が困難になってしまった。しかしこの状況下でも、“今だからこそ自分たちができる活動を続けていきたい”と考えていたところ、柏崎信用金庫を通じて地域の企業や飲食店から商品開発、PR 動画制作の依頼がきた。この依頼に学生なりの立場で取り組むことで、これまでとは違う形での地域貢献ができるのではないかと考えた。

(2) 柏崎信用金庫との連携

新潟産業大学と柏崎信用金庫は 2017 年に連携協定を結んだ。この連携協定の締結は、両者が有する人的・物的資源の活用により、地域産業の振興と人材の育成を図り、地域社会の発展に寄与することを目的としている。そして今回、「課題解決型営業」の一環として柏崎信用金庫がコーディネーターとなり、地域の企業や飲食店から相談のあった商品開発、PR 動画制作(本店から 2 件、半田支店から 1 件の計 3 件)を権田ゼミナールが受諾し、学生目線のアイデアで課題解決に取り組んでいる。

2. あんこジャム PR 動画制作

(1) あんこジャムとは

「あんこジャム」は柏崎市東本町にある「いろはや製餡所」が開発した商品である。「いろはや製餡所」はあんこの製造や販売(店頭販売、菓子店卸、ベーカリー卸、量販店卸)、「甘味処餡庵」という喫茶店の経営を行っている。あんこジャムはパンに塗りや

すいように滑らかに仕上げてあり、パンケーキやアイスクリーム、ヨーグルトなどにかけてたり、牛乳で割って飲んだりして楽しむことができる。北海道産小豆を使用し、滑らかに仕上げた「こしあん」、北海道産小豆を使用した銅鍋で仕上げた「小倉あん」、新潟県産いちごを使用し、越後姫の持つ香りと味わいを大切に作った「越後姫あん」、新潟県産洋梨を使用し、ル・レクチェの芳醇な香りのするフルーティーな「ル・レクチェあん」、北長野県産サクランボを使用し美しいピンク色に仕上げ、国産さくら葉を加えさくらの風味豊かな「さくらあん」、越後みそ西の三階節みそを使用し、みその香りが芳醇で甘さとしょっぱさの加減が絶妙なバランスの「みそあん」の 6 種類が製造、販売されている。



(2) 活動概要

いろはや製餡所から若い世代の方へのニーズと、食べ方の提案を動画にして SNS にアップするなどのプロモーション動画の制作依頼があった。

5月12日にいろはや製餡所の野澤さんと柏崎信用金庫の池原さんにお越しいただき、あんこジャムの試食会をした。その後、PR 動画の制作に取り掛かり、完成した動画は権田ゼミナールと甘味処餡庵の YouTube チャンネルに投稿されている。

① 予告編動画の制作

7月6日にいろはや製餡所と柏崎信用金庫にお越しいただき、あんこジャムを使ったメニューの試作と撮影のテストを行った。この日の試作では、朝食おやつ、おつまみとして楽しむことができるアレンジレシピを作成した。この日に撮影された動画や写

真などをもとに、今後制作するPR動画の予告編として動画を3つ制作し、YouTubeに投稿した。



②PR動画の制作

予告編の投稿後、PR動画のテーマや尺の長さなどについて話し合い、「あんこジャム対決編」「あんこオレでチャージ編」「親子でパフェづくり編」「大人の夜の食べ方編」を制作することを決めた。

10月12日に「あんこジャム対決編」の撮影をし、朝食メニューとデザートとの2対戦を行った。しかし、この日の撮影では多くの課題も見つかった。特に、調理シーンでの手元の映像が良く撮れてなかったため、12月に手元中心の撮影を再度行った。

また2月8日には、「親子でパフェづくり編」の撮影を行うなど、その他の動画も撮影、編集を進めており、順次YouTubeに投稿していく予定である。



③学園祭での販売

10月16日に開催された学園祭では、あんこジャムをトッピングしたワッフルとクラッカーを販売し

た。味は自分で選ぶことができるようにして提供し、来場者から大変好評いただいた。



3. カフェにおける若者向けメニューの提案

(1) 活動概要

令和元年東本町にオープンしたマリブカフェから若年層の世代の方々の来店を増やすためのメニュー開発やPR依頼があった。

マリブカフェは、西海岸をイメージさせる空間と隠れ家的な雰囲気のカフェで、鮮度や旬、地産地消にこだわった自慢の料理を提供している。

①試食会・意見交換

6月29日マリブカフェに伺い、新メニュー提案に向けて試食会が行われた。試食会終了後に店主の柴野さんへの質問や意見交換を行い、お店のこだわりやどのようなメニューを期待するかなどを伺った。

②新メニュー提案

新メニュー提案では、お店自慢のカレーを使った「カレーフェア」を開催することになった。ハンバーグカレーなど様々なカレーメニューを提案し、今後フェアを実施する方向で検討している。また、他にもお店のコンセプトにあったランチ、夜メニュー、デザート、ドリンクの新メニュー提案を行った。



4. 「蒔絵コースター」のパッケージ、

キャラクターデザインの制作

(1) 蒔絵コースターとは

「蒔絵コースター」は横山にある平田表具店が販売している商品である。平田表具店は伝統的な表装作業による、ふすまや障子、壁紙などの張替えを行っている。ふすまを使っている家が少なくなってきたことから、もっと身近に感じてもらうため様々なことに挑戦している。「蒔絵コースター」は「江戸唐紙」の伝統技法のひとつ、金銀砂子細工を使ったペーパーコースターである。金銀砂子細工をコースターに施しているため、一枚一枚砂子の位置が違い同じものは世界で一つとない。和紙でできているが防水加工もしてあり、何度も繰り返し使うことができる。赤、青、緑、オレンジ、紫、金、銀の7色ある。

(2) 活動概要

「蒔絵コースター」の販路拡大のためのPRの依頼があり、柏崎市の名所、名物をモチーフにしたキャラクターやパッケージを学生がデザイン、販売した。

①デザイン制作

「蒔絵コースター」は、販売当初はPRがうまくいってなく、高級で手に取ってもらいづらい商品だった。そこで、多くの方に手に取ってもらうためにどうすればよいかゼミナール内で話し合い、柏崎市の名所や名物をモチーフにしたキャラクターを作り、パッケージに載せることで、幅広い世代の人に買ってもらえるのではないかと考えた。赤は紅葉、青は海、緑は竹、オレンジは柿、紫はカキツバタ、金は



花火、銀は雪がモチーフになっている。また、コースターが一枚一枚違うことを知ってもらうために全ての柄が見えるようにパッケージを作成した。

②学園祭、夕海での販売

10月に行われた学園祭で学生デザインパッケージを初お披露目し、大好評で完売した。その後、柏崎港観光交流センター「夕海」でも販売された。



5. 今年度の活動から来年度へ

今年度は、例年のイベント開催とは異なる、PR動画制作などを用いた地域活性化へのアプローチを発見できた。また、動画制作やパッケージデザインなどチームに分かれての活動を行ったが、各々がしっかりと判断して行動できた。

一方で、絵が描けたり、動画編集ができたりする一部の人に負担が集中したことや、依頼者である地元企業やお店に対する理解が不足していたなどの課題があった。

新年度もどのような地域貢献が可能か不透明な状況ではあるが、今回のような地域からの依頼には積極的に取り組んでいきたい。その際に、「話題づくり」にとどまらない、より効果的な提案やPR活動を行っていきけるよう、事前のリサーチやコンテンツ制作のノウハウ修得にも力を入れながら活動を展開していきたい。今後とも地域の方々には一層のご指導とご協力をよろしくお願いいたします。



権田ゼミ Twitter



権田ゼミ YouTube